

---

# 夢の後。

小鳥遊 小紗

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夢の後。

### 【Nコード】

N9616P

### 【作者名】

小鳥遊 小紗

### 【あらすじ】

シリアルもぐもぐ。まだ最初。

## 夢の後 - 1

私。そう私自身が死ぬということ。  
それは一瞬の出来事だった。

このセカイはある力で動いているの。  
この力が終わったらこのセカイはどうなるんでしょうね・・・。

私は目を覚ました。

過去についての記憶なんか一切ない自分がこのセカイで起きた。  
まわりは何もないように思えた…。

一体どうなっているの。

このセカイは・・・。

とりあえず外に出るしかない。

このセカイはどういうセカイなのか確認しないとけない・・・！

周りは薄暗かった。

無数の人影が私の周りを歩いてゆく。

と、後ろから手を私を呼ぶ声が聞こえる・・・。

夢の後 - 1 (後書き)

続き書かないと。

初めてで変だなと。

よんでくれたら幸いです\*

## 夢の後 - 2

後ろに振り返って目に見えたのは私と同じ年ぐらいの少女。

『千莉こんな場所でないにしてるの？』

千莉…？誰のことだ。

『千莉…。？あなた自分の名前忘れたの？』

自分の…。名前…？

私に知り合いなどいない。

今日目覚めたばかりだというのに。

『千莉…？今日の千莉変ね。大丈夫？』

ええ…。そうとしか私は返事をする事が出来ない…。

私は無言でその場から走り去った。

そうすることしか出来なかった。

このセカイは危機に晒されているのです。

あなたはこうとしてまで生きたいのですか？

『今日も探索…。？かなあ。』

私は独り言を呟く。

昨日は探索といい町に出で酷い目にあつたのだ。

千莉…。か。私の名前らしい。

私はあんな人にあつたことはないからきつと私とその千莉とか言う人は別人なのだろう。

セカイに3人は顔の似てる人がいると言っし。

このセカイは本当になんなんだ…。

でももしかしたら。

私の予想が当たっているのだとしたら・・・

私は身を隠さなければならない。

その千莉という子と私はなにかしら関係があるのだろう。

ならば私はイレギュラーな存在だ。

見つけられてはその子の運命が変わってしまうのかもしれない。

夢の後 - 3

このセカイを救うには犠牲がつき物なのです。  
あなたが次の犠牲になってくれますか？

うーん、これからはどうしよう。

私は相談できる人もおらず一人で方法を考えていたはずだったのだ  
がいつの間にか寝てしまったらしい。

とりあえずその千莉とか言う人に接触するか・・・

私は部屋のすみずみまで見渡す。

そして着れそうな物をどんどん着ていった。

『よし、これなら気づかないだろう。』

彼女はゆっくりと部屋から出た。

千莉という少女に接触するために。

まだ自分が何のためにここに来たのかも知らずに。

夢の後 - 4

その千莉という少女を見つけたのは遅くはなかった。  
なぜなら…その少女は自分にそっくりだったからだ。

雰囲気、言葉使い、性格を偽ればどちらか分からないだろう。

彼女は都合よく一人だ。

自分は彼女に近づいていった。

『こんにちは。』

『えっあああこんにちは…』

『えっとなんでしょうか…？』

何故か分からないが少女は怖がっているらしい。  
とりあえず私は警戒を解くことから開始した。

『私は怪しい人間ではない。』

『そういう人が案外怪しい人なんですよね。』

『…』

『私は意味なくお前に話しかけたのではない』

『話しかけた意味って何？かつあげ？』

『…』

なんとも会話がしづらい。

なんなんだこのセカイは。

私は1時間ぐらいこのような会話を続けていた…。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9616p/>

---

夢の後。

2011年1月9日07時38分発行